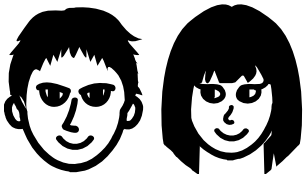
NPO PILCON
ANNUAL REPORT
2015



NPO 法人ピルコン 2015 年度活動報告書

PILCON
THINK ABOUT LOVE & LIFE!

人生をデザインするため、性を学ぼう

あなたにとって「性」とは、どんなイメージですか？

恥ずかしい、よくわからない、興味はあるけど聞きにくい、といった方が多いのかもしれません。性は誰にとっても身近なものですが、きちんと話す機会は非常に限られています。その一方で、あやふやな性知識のため傷ついたり、誰にも相談できず悩む若者も少なくありません。望まない妊娠、不妊、性感染症など、日本には性に関する課題が山積みです。

生まれてくる赤ちゃんの 1/5 の数が「産まない」選択をされています※1。

性経験のある女子高校生の約 8 人に 1 人が性感染症に感染しています※2。

晩婚化・晩産化を背景に、不妊に悩む人が増加しています。

問題の背景には、性の知識や当事者意識、自尊心の不足があります。

こうした課題を解決するためにも、ピルコンは正確な性の知識を伝えていきます。性を学ぶことが、自分やパートナーを守り、人生の選択肢を広げ、豊かな人生を送ることにつながると私たちは信じています。

（※1）平成 25 年度厚生労働省「衛生行政報告例の概要」より　（※2）平成 18 年国立保健医療科学院疫学部調査より

代表ご挨拶

NPO 法人ピルコンは、2015 年度で法人化後、3 期目の年となりました。学生団体としてささやかながら活動を始めた 2007 年から、通産して 100 回以上の講演やイベントを実施し、2015 年度は『マンガでわかる オトコの子の「性」――思春期男子へ 13 のレッスン』（染矢明日香［著］／みすこそ［マンガ］／村瀬幸浩［監修］）が出版に至りました。今年度で 2,000 名以上（通算で 4,000 名以上）の中高生に健康教育×キャリア教育プログラム LILY を届けた他、多くの一般向けの啓発イベント、保護者向けの講演会を開催、もしくは講師としてお招きいただきました。更には、電通育英会様のご支援を受け、児童養護施設向けの性教育教材事業を開始し、児童養護施設の職員及び児童向けの研修やワークショップを開催しながら、オリジナルの教材開発にも取り組みました。ここまで活動を継続・発展させることができたのも、ひとえにご支援くださった皆様のおかげです。

そして、2016 年度からは東京都杉並区との協働事業として「すぎなみレッドリボンプロジェクト」がスタートしました。

地域、そして若者を巻き込んでの啓発を今後も注力していくと共に、講演活動を全国に広めるための準備や WEB を通じての情報発信にも取り組んでまいりたいと思います。今後とも皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

NPO 法人ピルコン　理事長　染矢明日香

NPO 法人ピルコン 2015 年度活動報告書

目次

- 目次 2
- ピルコンの取り組む社会問題 2
- ピルコンの事業概要 3
- 2015 年度活動報告 4
  LILY/保護者向け講演/Pilcon College/児童養護施設/その他
- ピルコンを応援してくださる皆様 10
- 執筆・メディア掲載 10
- ご支援のお願い
- 法人概要

ピルコンの取り組む社会問題　―今、日本の若者の性に起こっていること

生まれてくる赤ちゃんの 1/5 の数が「産まない」選択をされています

日本の年間中絶件数は、年間約 19 万件。出生数の 1/5 の数に及びます。その内、10 代の中絶件数は年間 2 万件。1 日に換算すると約 53 件となります

出生数：103万人　　中絶件数：19万人

平成 25 年度厚生労働省「衛生行政報告例の概要」より

性経験のある女子高校生の約 8 人に 1 人が性感染症に感染

10 代～20 代の若者に、自覚症状が少ないクラミジア等の性感染症が流行しています。感染に気付かず放置すると、将来の不妊の原因になることがあります

平成 18 年国立保健医療科学院疫学部調査より

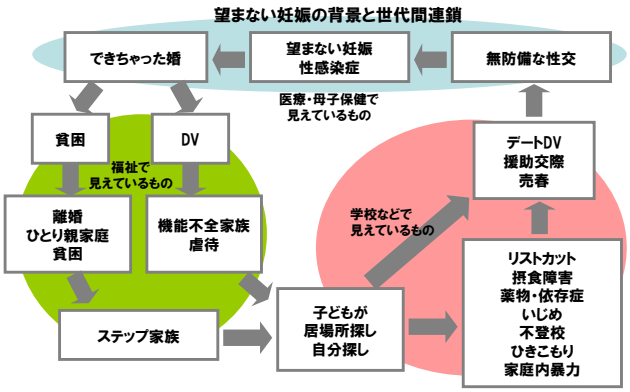
問題の背景にあるのは、性の健康の知識や当事者意識・自尊心の不足

インターネットやコミュニケーション技術の発達により、偏った性情報を鵜呑みにしたり、人間関係がうまく築けない子どもが増えています

若者の性のトラブルが起こる構造

望まない妊娠をきっかけに、様々な社会的なリスクが連鎖

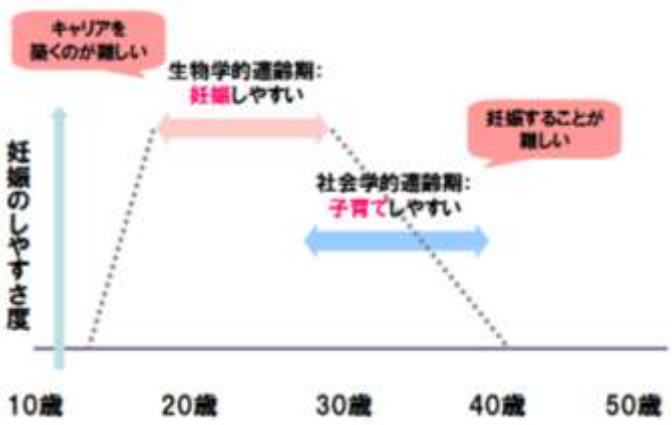
各関連機関が協力して対応していくことが必要です



種部, 2013 年『困難な背景を持つ妊娠、妊娠中に観察されるハイリスク要因』より

妊娠のタイミングが悩ましい日本女性

子供を産む・産まないは個人の選択ではありますが、晩婚化・晩産化を背景に、少子化や不妊に悩むカップルも増えています。ライフコースや生き方が多様化する今、自分が望む将来設計をデザインするためには、性を学ぶことが重要です



蓮尾豊先生図より改変

問題解決のためにできること

「包括的性教育」が性行動を慎重化させる

節制や禁欲とともに、避妊や性感染症についても教える性教育を、「包括的性教育」と呼びます。国連機関などの研究により、「包括的性教育は若者の性行動を促進することはなく、むしろ責任を高める」ということが示されおり、WHO（世界保健機構）や UNESCO（国際連合教育科学文化機関）から理想的な性教育の指針などがまとめられています。

秋田県におけるモデルケース

日本における先進的な事例として、秋田県では秋田県教育庁・秋田県教育委員会が地元の医師会と連携し、医師による性教育講座を県内の高校・中学で行っています。県内すべての中高生が在学中に一度は妊娠・出産や避妊、性感染症などについて話を聞く機会を設けています。秋田県の 10 代の人工妊娠中絶率が全国平均を大きく上回った 2000 年度からスタートし、2011 年度には、その 1/3 にまで中絶率が減少。全国平均を下回るようになりました。

秋田県教育庁発表より作成

ピルコンの事業概要

NPO ピルコンは、自分らしい人生と豊かな人間関係を築ける社会を目指し、若い世代とそれを取り巻くステークホルダーに、性の健康の知識を学び、ライフスキルを育む機会を提供します。関連組織や一般市民と連携し、「場作り」と「人の育成」をしています

主に、以下の 4 つの取り組みを行っています。

1 中高生向け
性教育×キャリア教育プログラム
LILY<Link Life of Youth/リリー>

大学生・若手社会人が身近な目線で伝える人生設計に必要な性の健康講座

2 保護者向け
家庭での性教育サポートプログラム
Parents for <ペアレンツフォーツー>

家庭で実施できる性教育について学び、考える講座

3 一般向け
リプロダクティブヘルス/ライツ*勉強会
Pilcon College<ピルコンカレッジ>

セクシュアリティ・ジェンダーを学ぶ講座・ワークショップイベント

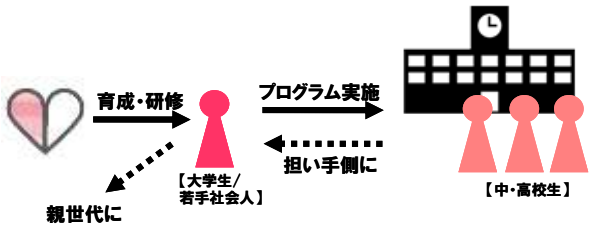
*性と生殖に関する健康・権利

4 その他啓発・講演活動

各種イベントへの出演や、WEBページでの情報発信、執筆活動など

[1] 中高生向け 性教育×キャリア教育プログラム LILY<Link Life of Youth/リリー>

中・高校生を対象に、自分の将来を守るために必要な性とライフプランニングの知識を大学生、若手社会人が身近な立場から、わかりやすく伝える出張授業を実施しています。同世代が対等な立場から一緒に考えることで効果的な情報提供・予防啓発を行う「ピア・エデュケーション」という手法を活用しています。担い手の大学生・若手社会人と、受け手の中・高校生の両方にライフ＆キャリアプランニングの学びの普及と担い手の循環を促すモデルが特徴。受け手に年齢や立場の近い学生を担い手にすることで、受け手の関心を高め、ロールモデルとして提示する共に、正しい性知識を教えられる将来の親世代を増やすことを目的としています。



実績

2015 年度は合計で 10 校（施設含む）、約 2000 名の中高校生・大学生に LILY を実施し、のべ 4000 名以上の生徒にプログラムを届けました。

また、運営には 33 名の大学生・若手社会人フェローが担いました。

【2015 年度　LILY 実施校一覧】

	高校名	種別	対象学年	対象人数（名）
1	群馬県私立高校	全日制高校	高 1	566
2	神奈川県公立高校	全日制高校	高 1	342
3	KTC 中央高等学院 立川キャンパス	通信制高校	高 1～高 3	103
4	日出高等学校 通信制	通信制高校	高 2	88
5	神奈川県立港北高校	全日制高校	高 3	241
6	子供の家（児童養護施設）	児童養護施設	中 1～高 3	15
7	千葉県私立大学 マーケティングゼミ	大学	大 2	18
8	一宮学園（児童養護施設）	児童養護施設	中 1～高 3	44
9	埼玉県公立中学	中学	中 3	186
10	埼玉県公立高校	全日制高校	高 1、高 2	421
	全体			2024

【フェローの主な所属先】

共立女子大学、慶應義塾大学、相模原看護専門学校、聖路加国際看護大学、東京大学、東京外国語大学、千葉大学、中央大学、明治大学、横浜市立大学、病院・クリニック、官公庁、NPO、民間企業など

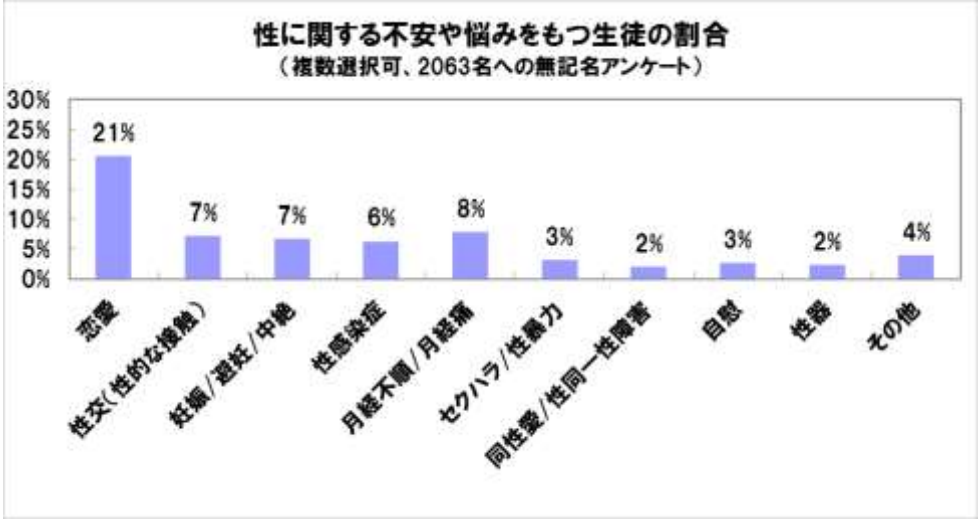
事前・事後アンケート分析結果

【アンケート概要】

- 実施時期　2015 年 6 月～2016 年 3 月
- 対象者　LILY を実施した中学・高校・大学生
- 回答者数　事前/n=2063、事後/n=2024（講演 10 回）
- 調査方法　授業前と授業実施後に無記名アンケートを実施し、性に関する知識の正答率と意識・態度の変化を定性・定量的に分析を行った

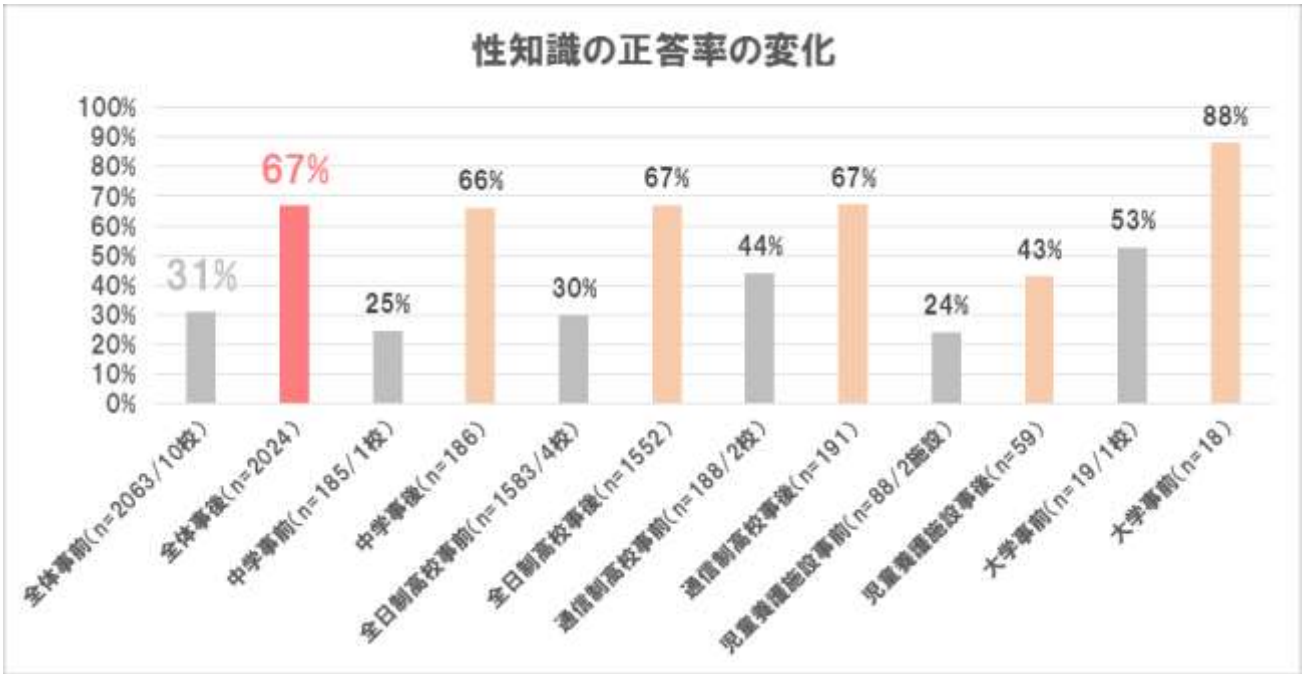
性に関する不安や悩み

恋愛について悩んでいるという回答が最も多く、約 5 人に 1 人の割合でした。続いて、月経不順/月経痛、性交（中学生には「性的な接触」と質問した）、妊娠/避妊/中絶、性感染症と続き、性交や避妊についても約 14 人に 1 人の割合で不安や悩みを持っていることが分かりました。



LILY の実施後、性知識の正答率が約 4 割上昇

「排卵はいつも月経中におこる（誤）」「性感染症にかかっていても必ずしも症状は出ない（正）」など、10-12 項目の性知識に関する正答率が講演後 36% 上昇しました。学校の種類によって質問は変えたところもありますが、全ての種類の学校で正答率は大きく上昇しました。



LILY の実施後、性リスクの当事者意識と避妊への積極的態度が向上

対象生徒に対して「今後の自分にとって、性感染症や予期しない妊娠は関係のあることだと思いますか？」という問いに対し、「とても関係ある」「関係ある」と答える生徒の割合が 13%上昇（68%→81%）。また、高校以上の実施校に対して、「今後の性関係において、妊娠を希望しないときは必ず避妊を実行できそうですか？」という問いに対しては、「とてもそう思う」「そう思う」と答える割合においては 17%上昇しました（42%→59%）。「自分や相手の将来と結びつけて、これからの性行動を選択しようと思いますか？」に問いに対しては、「とてもそう思う」「そう思う」と答える割合においては 21%上昇しました（54%→75%）。

対象生徒の声

「講演を聞けてよかったと思いますか？」という質問に対して、49%の生徒が「とてもそう思う」36%の生徒が「そう思う」と回答し、「思わない」「全くそう思わない」と答えた生徒は 3%以下でした。

自由記述の生徒の感想としては、男女共通して、「わかりやすかった」「ためになった」という内容の理解や、「自分にも関係ある」「身近に思った」などリスクの自分事化につながった声を多くいただいています。

【感想の一部抜粋】

自分と同じ年代の人が望まない妊娠をしてしまったり、中絶するという問題が多いということが印象に残りました。あまり自分のこととして深く考える機会がなかったけど、すごく大切なことだと思いました。これを機に、正しい知識をもっと知ろうと思います。（高 1 女子）

今まで知らなかったことや、ネット等のウソの情報を知ることができてよかったです。また、自分の体だけではなく異性のことについても学べたので、お互いを理解できるようにしていきたいと思いました。（中 3 女子）

今回の講演を聞いて、これからの女性との関わり方について今まで以上に考えるようになった。まだよく分からないことがあるかもしれないので、こういった機会を大切にし、真剣に考えていきたいと思います。（高 2 男子）

最初は、性のことについてあまり考えていませんでしたが、今回の講演でちゃんと考えようと思った。また、自分だけでなく相手の事も考えていかないといけないとも思った。ありがとうございました。（高 2 男子）

担当教員の声

学校の担当教員の方からは、身近な目線からの体験談や事前・事後アンケートに基づく内容設計について評価いただく声を多くいただきました。

【感想の一部抜粋】

スライドやワークショップを通して、わかりやすく伝えていただけたのがよかった。また、年齢の近いスタッフの方が体験談を交えながらお話いただいたこととで、生徒も性の悩みやトラブルが身近に起こることを感じてもらえたと思います。（全日制高校教諭）

教員からは具体的に話しにくいことを身近なお兄さん・お姉さんの立場からお話いただけたのがよかったです。体験談の紹介では生徒も真剣に耳を傾けながら、〇× クイズや水の感染のワークショップでは楽しい雰囲気で進めていただけて生徒も印象に残ったようでした。（全日制高校教諭）

[2] 【保護者・PTA 対象】家庭における性教育講演

保護者対象の子どもへの性教育を考えるイベントのほか、PTA や保護者会、自治体などから、子どもたちが自分のからだを守り、性のトラブルに遭わせないための保護者向けの性教育講演をお受けしました。

実績

● 保護者向けイベント「パパと考える！思春期の子どもとの向き合い方」
ファザーリングジャパン様と開催

● 千葉県流山市　PTA 保護者会（小中）主催　子どもの安全を守る協議会　「性について、自信をもって子どもの相談にのれるための講座」にて講演

● 高津市市民講座「心が生きる性教育」にて講演

● 千葉県八千代市思春期保健ネットワーク会議主催　思春期保健シンポジウム「知っておこう！イマドキ思春期と性教育」にて講演

● 西東京市男女平等推進センターパリテ主催　男女平等推進センター基礎講座　「子どもたちの性を大切に　親から子へ伝える悔やまない人生のための性教育」にて講演

● 京都市男女共同参画センター ウイングス京都主催「大人のための「思春期レッスン」　性のこと，きちんと知りたい，伝えたい」にて講演

[3] 一般向けイベント Pilcon College＜ピルコンカレッジ＞・その他一般向け講演

Pilcon College は、講座と対話を通して、自分らしく生きるヒントを見つける学びの場として、ジェンダー・セクシュアリティについての講座を開催。その他にもイベントの開催・講師や登壇者などを務めました。

実績

【Pilcon College 開催実績】

● Pilcon College キックオフ特別企画　自分と向き合うパークヨガ＆デトックスブランチワークショップ 2015 年 5 月 6 日（水・祝）開催　参加者：8 名

● Lesson.1 「婦人科ドクターに聞く！女性のからだのリスクと今からできること」
5 月 21 日（木）開催　講師：江夏亜希子氏（四季レディースクリニック院長／産婦人科医／スポーツドクター）　参加者：16 名

● Lesson.2 「ジェンダーとセクシュアリティ － 日本とドイツの例から考える男女観」
7 月 5 日（日）開催　講師：ファスベンダー・イザベル氏（東京外国語大学博士後期課程）
参加者：17 名

● Pilcon College in Yokohama　「婦人科ドクターに聞く！将来のために知っておきたい女性のからだ」9 月 12 日（土）開催　講師：植田啓（ひまわりレディースクリニック院長／産婦人科医）　参加者：6 名

● Lesson.3「BE SEXY & HEALTHY!　幸せな”性”のあり方を考える一最新セクシュアルヘルスケアグッズの体験会＆座談会！」10 月 3 日（土）開催　協力（五十音順）：ID Lube Japan 様、TENGA 様、アルバコーポレーション（STD 研究所）様、相模ゴム工業株式会社様、ジェクス株式会社様、不二ラテックス株式会社様、ミライカラーズ様　参加者：18 名

● Lesson.4 「【LGBT】ハロウィーンナイト新宿 2 丁目スタディツアー」
10 月 31 日（土）開催　講師：はる氏（Queer & Allay 代表）　参加者：5 名

● Pilcon College 特別編　Pilcon × 中目黒アロマカフェ オトナのための性教育セミナー
11 月 12 日（木）開催　協力：アロマカフェ　講師：染矢明日香（NPO 法人ピルコン理事長）
参加者：15 名

● Lesson.5「【Birth】THINK ABOUT LIFE PLANNING」

2016 年 2 月 11 日（木・祝）開催　講師：やまがたてるえ氏（助産師、バースセラピスト）、下中麻奈美氏（不妊治療クリニック勤務・胚培養士）

参加者：16 名

【出演・登壇・協力イベント一覧】

● 立教大学 21 世紀社会デザイン研究科主催「13 歳からの男子の”性”を考える」公開講演会・パネルディスカッション

基調講演：村瀬幸浩 氏（日本思春期学会名誉会員、“人間と性”教育研究協議会幹事）/ パネルディスカッション：村瀬幸浩氏、染矢明日香氏 （NPO 法人ピルコン理事長）、岩切準氏（特定非営利活動法人夢職人 代表理事）、内田洋介氏（慈愛会今村病院泌尿器科医部長, 鹿児島大学非常勤講師）金子由美子 氏（『季刊セクシュアリティ』編集長, 日本思春期学会理事, 公立中学校養護教諭）渡辺真由子 氏（メディアジャーナリスト）、山口　いわお 氏（NPO 法人 JASH 日本性の健康協会代表、看護師、八千代市思春期保健ネットワーク委員）、若者代表の方など　参加者：105 名

● 第 22 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜に展示出展・発表

● “人間と性”教育研究協議会 第３４回全国夏期セミナーにて講演

● 第７４回 SVP 東京　ネットワークミーティングにて講演

● 聖路加国際大学 白楊祭に展示出展

● One Heart Project 主催「パラダイムスクール」にて講師

● 城西国際大学 看護学部 「社会資源との協働」にてゲスト講師

● 思春期ネット（松本市）主催「思春期男子の性から考える、これから必要な性の学び」にて講演

● AOFS Japan Office（アジアオセアニア性科学連合日本オフィス）・Link-R 主催　性教育作戦会議＆国際会議参加助成報告・説明会にてパネリストとして登壇

● みんなのイイナコレクション Vol.5 Be a play champion!に展示出展・協力

● 一般社団法人シンクパール主催 地球女性からだ会議に開催協力、シンクパールアワードノミネート

● ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)アドボカシーカフェ第 41 回　「性について　命と愛をどう学ぶ？ 伝える？」にて講演

● 性暴力・本当は何が起きているのかプロジェクト主催 Girl’s Supporter 集結イベント～大人がホンキで 10 代 20 代女性の性被害に向き合う 1 日～にてパネリストとして登壇

[4] 【児童養護施設対象】性教育講演・研修・教材開発

ハイリスクな環境下にいる子どもたちとそのサポートをする大人を対象に子どもたちが自分の身を守り、豊かな人間関係を築いていくサポートの充実を目的として、下記の児童養護施設向け性教育事業を 2015 年度電通育英会助成事業として実施しました。

提供プログラム

児童養護施設職員の方からのヒアリング・及び打ち合わせの上で、下記プログラムを実施しました。

1. 児童養護施設職員様向け講演・研修／思春期・性教育についての講義＋ワークショップ（120～180 分）

・子どもたちを取り巻く性の現状と課題

・子どもたちの性トラブルの予防・早期解決策を考えるワークショップ

2. 子ども（中高生対象）向け講演／大学生や若手社会人のスタッフを中心に提供(90 分-120 分)

・予期しない妊娠・性感染症などの性のリスクと予防・対処法

・性の健康やこれからの人間関係を考えるワークショップ

【対象】

児童養護施設・児童自立援助施設・自立援助ホームなど

実績

【研修・講演】

東京都社会福祉協議会児童部会リービングケア委員会様、子供の家様、一宮学園様、道心園様など児童養護施設 7 施設で職員向け研修、一部子ども向け講演を実施

【教材】

「LOVE LIFE HEALTH BOOK」

若者世代を対象とした、性の健康についての情報冊子です。医療従事者のご協力のもと、啓発活動の中で、若者たちの「こんなことが知りたい」「こんなことが心配」といった声をもとに制作しました。高校生向けの性教育教材としてもご活用いただけます。

下記ページより閲覧・ダウンロードいただけます。

http://pilcon.org/activities/publications

その他、オリジナルのワークショップ用教材を開発しています。

[5] その他啓発事業

冊子・リーフレット

女の子のための防災 BOOK リプロダクティブ・ヘルス/ライツページ

聖心女子大学の学生を中心に立ち上げられた「Torch for girls」さんが作成する女の子のための防災 BOOK・キットにて、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する情報ページの制作を担当しました。防災 BOOK・キットはイベント等で配布されます。

「LOVE LIFE HEALTH BOOK」

若者世代を対象とした、性の健康についての情報冊子。サイズ A6 版　20 ページ（カラー）を 1 部 100 円で販売しています。

冊子・リーフレットは下記ページより閲覧・ダウンロード、ご注文いただけます。

http://pilcon.org/activities/publications

WEB

正しい性の知識をわかりやすく伝える動画コンテンツを企画・制作・配信を行い、合計で 160 万回以上再生されています。

あなたの知らない、日本の性の“不都合な真実”

日本の性に関する現状を伝え、問題喚起を行う動画

http://www.youtube.com/watch?v=p5TNpOTPK2I

パンツを脱ぐ前に知っておきたいコンドームの正しい付け方

コンドームの正しいつけ方を動画で分かりやすく解説し、確実な避妊につなげる動画　※Link-R との共同制作

https://www.youtube.com/watch?v=CCrXFxtOHt0

出版書籍

『マンガでわかる オトコの子の「性」――思春期男子へ 13 のレッスン』

染矢明日香［著］／みすこそ［マンガ］／村瀬幸浩［監修］1,400 円（税込 1,512 円）／出版社: 合同出版

思春期男子のつきない悩みについて、13 のテーマをマンガ+Q&A でわかりやすく解説。自分と大切な人を守るために、科学的な正しい性の知識が身につく内容です。

ピルコンを応援してくださる皆様

ピルコンにご助成、ご協賛、商品や会場の無償提供などにご協力いただいた企業様を掲載いたします（五十音順）

- ID Lube Japan 様
- 花王株式会社様
- 株式会社アルバコーポレーション（STD 研究所）様
- 株式会社典雅様
- 公益財団法人電通育英会様
- 合同出版株式会社様
- 相模ゴム工業株式会社様
- ザ･ボディショップ様（株式会社イオンフォレスト様）
- ジェクス株式会社様
- 特定非営利活動法人 ETIC.様
- 特定非営利活動法人サービスグラント様
- ナンシーズ株式会社様
- ひまわりレディースクリニック様
- 不二ラテックス株式会社様
- ミライカラーズ様
- 立教大学 21 世紀社会デザイン研究科様

フェロー研修や勉強会、講演資料、教材の作成にご協力・アドバイスをいただいた先生方：

上村茂仁先生（産婦人科医・ウィメンズクリニックかみむら院長）、蓮尾豊先生（産婦人科医・あおもり女性ヘルスケア研究所所長等）、清水信輔先生（国際医療福祉大学成田キャンパス・看護学部講師等）、村瀬幸浩先生（日本思春期学会名誉会員等）、やまがたてるえ先生（助産師・バースセラピスト・NPO 法人 JASH 性の健康教会理事）※2016 年 4 月現在

執筆・メディア掲載

【執筆記事】

- ニッポンの深層（真相）を各界の専門家・識者が分かりやすく解説するウェブマガジン Next Media Japan In-Depth にて「どうする？性教育」連載
- 子どもと若者の成長を支えるアナタのためのウェブマガジン「ひみつ基地」にて記事執筆
- 季刊 SEXUALITY No.72 において「ピル」の用語解説を執筆

【メディア掲載】

- 3/23 日経 ecomom 「子どもの心と成長にまつわるお悩みに、答えます！」にインタビュー記事掲載
- 3/18 日経 ecomom 「子どもの心と体の成長を見守る」特集にインタビュー記事掲載
- 2/10 東奥新聞 「ちゃんと学ぼう性のこと 若者グループ「ピルコン」 高校、大学生らに出前講座」ピルコンの取り組みを掲載
- 2/7 下野新聞「性のこと 高校生らに出前講座 中絶隠さず正しい知識を」ピルコンの取り組みを掲載
- 2/1 日経新聞 オンライン/夕刊 「若者目線で「性」伝える ＮＰＯが高校・大学で出前講座 」ピルコンの取り組みを掲載
- 1/31 琉球新報「中絶経験隠さず高校生向け講座 ちゃんと学ぼう、性のこと」ピルコンの取り組みを掲載
- 1/30 熊本日日新聞「10 代「性」正しく知ろう 東京の若者グループ出前講座 中絶、感染症 体験談も」ピルコンの取り組みを掲載
- 1/4 Japan Times「Woman leads sex education drive to enlighten clueless youths」にてピルコン染矢のインタビュー・ピルコンの取り組みを紹介
- 12/8 毎日放送ちちんぷいぷい「石田ジャーナル」のコーナーにピルコンの取り組みを紹介
- 11 月 性の健康医学財団機関誌「性の健康」Vol.14 にピルコンの取り組みを掲載
- 11/19 greenz.jp に「夢を実現するために、性の知識は欠かせません！ 「ピルコン」染矢明日香さんが、出張授業で中高生との対話を続ける理由」に掲載
- 11/14 しんぶん赤旗「ひと」にピルコン染矢のインタビューが掲載
- フリーペーパー『クルール』にピルコン染矢のインタビューが掲載
- 9/10 朝日新聞 「隠さず話すよ、性のこと「先生」は中絶・性病経験も」に掲載
- 8/14 北陸中日新聞 ピルコン代表染矢の著書『マンガでわかるオトコの子の「性」』（合同出版）を掲載
- 7/24 東京新聞・中日新聞 ピルコンが主催する思春期のお子さんを持つ保護者の方向けに実施したイベントが掲載
- 7/17 読売新聞神奈川県版 教育ルネサンスに「性の正しい知識 高校生に」に掲載
- WEB メディア ログミー 2015 年 12 月の主催イベント「学校じゃ教えてくれない！『男子の貞操』を学ぼう！」のイベントレポートを掲載

ご支援のお願い

NPO ピルコンでは、若者の性の問題について、正しい性の知識と判断力を育む支援により、これからの世代が自分らしく生き、豊かな人間関係を築ける社会の実現を目指す活動をしています。ご寄付だけではなく、活動や若者を取り巻く状況を知っていただくこと、周りの方に伝えていただくことも大きなご支援だと私達は考えています。皆様からのご協力、お待ちしています。

● イベントへのご参加

ピルコンは 1～2 ヶ月に 1 度ほど一般の方にもご参加いただける勉強会やイベントを開催しています。詳細はピルコン HP「イベント情報」をご覧ください。

● ピルコン会員

ピルコンの活動に賛同し、活動を応援したい、支援したい方のための会員制度です。

ピルコン主催のイベントのお知らせ、ご優待や、活動報告書のご送付などの特典をご用意しています。

個人会員　一般：入会金 2,000 円　年会費 3,000 円　　学生：入会金 1,000 円　年会費 2,000 円

法人・団体会員　入会金 5,000 円　年会費 50,000 円

● フェロー（ボランティアスタッフ）・インターン・プロボノ

ピルコンでは、教育現場での講演活動や広報をサポートしてくださるボランティアを募集しています。詳細・お問い合わせはピルコン HP をご覧ください。

● ご寄付

1:[寄付口座のご案内]　ゆうちょ銀行　店名・店番：018（ゼロイチハチ）　普通　4488995　トクヒ）ピルコン

※ゆうちょ銀行からお振込みの場合　記号：10140　番号：44889951　トクヒ）ピルコン

お振込みいただいた方にはお礼と活動報告をご送付させていただきますので、名前・ご連絡先をピルコン<pilcon.info@gmail.com>までご連絡ください。

2:かざして募金　ピルコンのロゴを指定のアプリでかざすと、携帯料金から自動引き落としで寄付ができます。

3:goooddo　「応援ボタン」のクリックやシェアで、無料で寄付ができます。

http://gooddo.jp/gd/group/pilcon/

NPO 法人ピルコン法人概要

設立：2013 年 10 月（2007 年 10 月より活動開始）

理事長：染矢明日香

団体 HP：http://pilcon.org/　　お問い合わせ：pilcon.info@gmail.com

Facebook：https://www.facebook.com/pages/Pilcon/148933651838989

Twitter: @pilc0n

「PILCON（ピルコン）」とは？

Program for Ideal Life through COmmunication & Networking

ワークショップ等のコミュニケーションと社会資源ネットワークの構築により、

その人それぞれの「理想的な人生・生活」を実現するためのプログラムを提供する団体の意味。